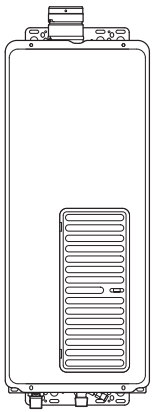
大阪ガス

ガスふろがま

531-R909型

取扱説明書 保証書付



この取扱説明書には、ガスふろがまを安全に正しく使用していただくために必要な注意事項、使用方法が記載されています。本機器を使用する前によく読み、十分に理解した上でご使用ください。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。
この取扱説明書の裏表紙と37～38ページが保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」ですので、所有者登録と法定点検が必要です。
詳しくは2～5ページをご覧ください。

51022510　5102251000　RB-01-y

もくじ

はじめに …… 1
長期使用製品安全点検制度に関するお願い‥ 2

安全のための注意
必ずお守りください …… 6

各部のなまえとはたらき
機器本体 …… 15
リモコン …… 16

準備してください
初めて使うとき …… 17

おふろを沸かすとき
おふろを沸かす …… 19
おふろをあつくする …… 21
保温時間を変更する …… 23

凍結予防
冬期の凍結による破損予防について ‥ 24
長期間使用しないとき …… 25

点検・お手入れ
日常の点検とお手入れ …… 26

故障かな？と思ったら
修理を依頼される前に …… 31
故障表示 …… 33

仕様
仕様 …… 34

サービス
アフターサービスについて …… 35

保証書
保証書 …… 37 ー裏表紙

はじめに

本書の使いかた

初めてお使いになるときには、ひと通りお読みください。
使いかたが分からなくなったときなどは、表紙の「もくじ」から該当する項目を探して、そのページをご覧ください。

本書の構成

本書は、以下の 10 の項目から構成されています。
（※表紙に「もくじ」を設けてあります。）

長期使用製品安全点検制度に関するお願い ‥長期使用製品安全点検制度に関するお願いを記載しています。

安全のための注意 ……本品を使用する上での注意事項を記載しています。機器をお使いになる前に、必ずお読みください。

各部のなまえとはたらき ……機器本体およびリモコンの各部の名称と機能を記載しています。

準備してください ……最初にお使いになる際におこなっていただきたい内容を記載しています。

おふろを沸かすとき ……おふろ沸かし（沸きあげ保温やおいだき）などの手順を記載しています。

凍結予防 ……冬期など寒い時期に機器および付帯設備の凍結を予防するための方法を記載しています。長期間ご使用にならない場合にもお読みください。

点検・お手入れ ……快適に長く機器を使用していただくためにお客さまにおこなっていただきたい、点検とお手入れの方法を記載しています。

故障かな？と思ったら ……症状別の対処方法や、故障表示に関する情報を記載しています。機器の調子が変だなと思ったらお読みください。

仕様 ……機器の仕様と能力を記載しています。

サービス ……アフターサービスを依頼される場合のご注意や、保証、機器の修理・移設に関するお知らせを記載しています。

本書で使用する絵表示について

……**参照ページおよび参照箇所**

……**用語説明**

……**仕組みの説明**

……**使いかたのヒント**

※安全にお使いいただくためのご注意に関する絵表示については、6ページを参照してください。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

長期使用製品安全点検制度とは…

長期使用製品安全点検制度とは、平成 21 年４月１日施行の改正消費生活用製品安全法（消安法）に基づいた「消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故の発生のおそれが高い消費生活用製品について、経年劣化による製品事故を未然に防止するため、消費者による点検その他の保守を適切に支援する制度」です。

この機器は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。
所有者登録と法定点検が必要です。

1．所有者登録をしてください。
付属の「所有者票〔返信用〕」に必要事項を記入して投函してください。

2．点検時期になったら、点検通知が届きます。
所有者登録をしていただいた方に、点検期間の始まる時期に法定の点検通知をいたします（消安法第 32 条の 12）。

3．法定点検を申し込み、法定点検を受けてください。
この機器の法定点検のお申し込み・お問い合わせは、５ページをご覧ください。

※詳しくは、以下５ページまでをご覧ください。

消費生活用製品安全法（消安法）とは…

消費生活用製品安全法（消安法）とは、「消費生活用製品による一般消費者の生命又は身体に対する危害の防止を図るため措置を講じ、これにより一般消費者の利益を保護することを目的とする」法律です。

特定保守製品とは…

特定保守製品とは、「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第２条第４項）」として指定された製品です。

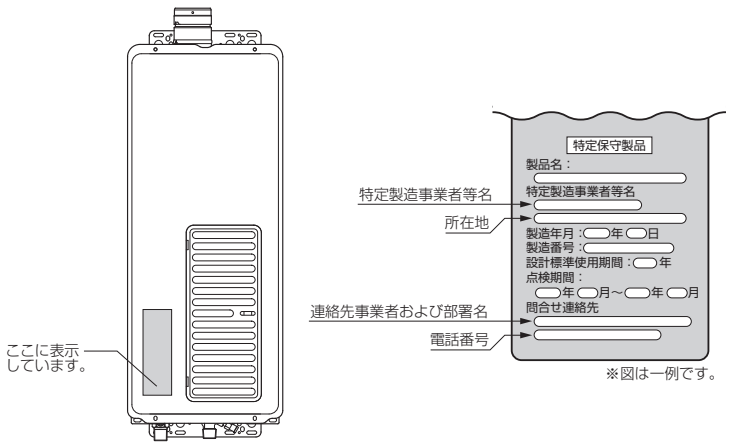
法定点検（有料）について

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に法定の点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています（消安法第 32 条の 14）。この機器の前面に表示してある点検期間になったら、忘れずに法定点検を受けてください。
- なお、法定点検は、その時点で機器が点検の基準に適合しているかを確認するもので、その後の安全を担保するものではありません。法定点検を受けた後もこの機器を継続して使用する場合は、点検の総合判定に基づいた点検時期（点検員が点検時にお知らせします）に再度点検を受けることが、この機器を安全にお使いいただくために必要となりますのでご注意ください。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

機器の表示について

●特定保守製品は、機器本体に「特定保守製品」・製品名・特定製造事業者等名・製造年月・製造番号・設計標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先を表示しています。機器前面の、図に示す位置にこれらが表示されていますので確認してください。



※図は一例です。

所有者登録について

●特定保守製品の所有者は、この機器の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。付属の「所有者票〔返信用〕」に必要事項を記入して投函してください。

また、特定保守製品の所有者は、引っ越しなどで住所が変わった場合や所有者が変わった場合など所有者登録の内容に変更が生じた場合は、その情報を提供することが求められています（消安法第32条の8第2項）。速やかに5ページの「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。登録内容の変更を行わないと点検の通知が届かなくなりますので、必ずお知らせください。

●所有者登録でお知らせいただいた情報は、消安法・個人情報保護法・および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、リコールなど製品安全に関する重要なお知らせや点検の通知・適切な保守・点検の実施以外には使用いたしません。

【 所有者登録の方法 】

●所有者票（返信はがき）でのご登録

所有者票〔返信用〕（返信はがき）に必要事項を記載して投函してください。

紛失などにより所有者票がお手元にない場合、引っ越しなどで住所が変わった場合や所有者が変わった場合など所有者登録の内容に変更が生じた場合は、5ページの「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

点検の通知について

●所有者登録をしていただいた方に、点検期間の始まる時期に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。

設計標準使用期間について

●この機器は、設計標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

●設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照）で適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、機種ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。保証書にある保証期間とは異なりますのでご注意ください。

設計標準使用期間の算定の根拠

この機器の設計標準使用期間は、製造年月を開始時期とし、JIS S 2072「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」の「4. ふろがまの標準使用条件」に従って以下の標準使用条件を想定して耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終了時期として設定しています。

ふろの標準使用条件

家族構成	4人世帯
用途	ふろの沸かし上げ・ふろのおいだき
季節	中間期（春・秋）
気温・湿度	20℃・65%
電源電圧・周波数	AC100V・50-60Hz
浴槽の水量	180リットル
ふろの沸かし上げ回数	1回／日
おいだき回数	3回／日
沸き上げ温度	40℃
1年使用日数	365日

●この機器を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海抜1,000m以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用すると、設計標準使用期間より早く経年劣化を起こし、重大事故となるおそれがありますので、機器に表示している点検期間より早く点検を受けてください。

●この機器は一般家庭用です。業務用（ホテル・料理店・美容院などで使用）など、高頻度・長時間のご使用は、設計標準使用期間より早く経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、5ページ「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

長期使用製品安全点検制度に関するお願い

点検期間について

- この機器の点検期間は、機器の前面に表示されています（3ページ「機器の表示について」参照）。
- この機器は、設計標準使用期間（10年）の終了時期の前後1年間を点検時期として設定しています。

本製品の点検等に関するお問い合わせ先

- この機器の法定点検のお申し込み・お問い合わせは、下記へお願いいたします。

大阪ガス　お客さまセンター

TEL フリーダイヤル **0120－0－94817**

受付時間　（月～土）：　9：00 ～19：00
　　（日・祝）：　9：00 ～17：00

- 点検料金について

  点検費用は、お客さまにご負担いただくことになります。点検料金については、上記お問い合わせ先にご確認ください。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途、整備費用が発生します。

  なお、点検料金の設定基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

  http://www.osakagas.co.jp/

- 法定点検は、特定製造事業者等である弊社の社員または弊社が認定した委託業者が行います。

整備用部品の保有期間

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合、安全性を確保（回復）させるために必要な部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。

部品名		保有期間
給気に関する部品	給気フィルター	製造打ち切り後11年
点火・消火に関する部品	点火プラグ・イグナイター	
ガス・水通路に関する部品	パッキン・Oリング	
安全装置に関する部品	フレームロッド・バイメタルスイッチ・温度ヒューズ・電流ヒューズ・漏電ブレーカー・サーミスター・COセンサー	

補修用性能部品の保有期間は35ページをご覧ください。

日常の点検・お手入れについて

- この機器を安全にお使いいただくために、日常の点検・お手入れを行ってください。
- 日常の点検・お手入れのしかたについては、26～30ページの「日常の点検とお手入れ」を参照してください。
- 点火不良・異音・異臭・使用途中に火が消えるなど、機器の異常に気付いたときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

必ずお守りください　安全のための注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

絵表示の意味

⚠危険

ガス漏れ時の処置

- ただちに使用をやめガス栓を閉じ、窓や戸を開けてから、販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

- 係員が処置するまでは、電気製品（換気扇など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。周辺で電話を使用しないでください。

  火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

必ずお守りください

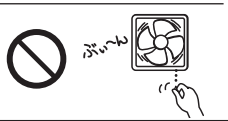
⚠危険

浴室内に設置しない・排気筒の点検必要

- この機器は浴室外設置形です。浴室内に設置しないでください。感電や一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 排気筒がはずれていたり、排気筒トップが鳥の巣やススで詰まっていないか、ときどき点検してください。室内に燃焼排ガスが入って一酸化炭素中毒のおそれがあります。異常に気付いたときはすぐに機器の使用をやめ、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。

使用中換気扇などをまわさない

- 使用中は換気扇やレンジフードなどを回さないでください。
  一酸化炭素中毒の原因となります。



⚠警告

ガスの種類と電源を確認

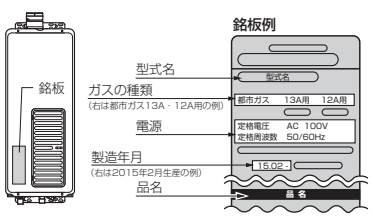
- 機器前面の、下図に示す位置に銘板を貼付してあります。
- 銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を確認してください。銘板に表示のガス、電源以外では使用しないでください。

  異なるガスや電源で使用すると、異常点火や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒や火災、機器破損の原因となります。

  不明な点はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

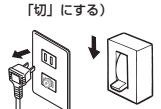
  移設や移転の場合は、販売店／転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。

P35「アフターサービスについて」



異常時の処置
地震・火災などの緊急のときには

- 機器の異常（排気筒トップから煙が出るなど）、臭気、異常音、異常な温度、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、下記の処置をして、販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

1 ガス栓を閉じる	2 電源プラグを抜く（分電盤の専用ブレーカーを「切」にする）
ガス栓	

- 地震、火災など緊急のときも同様に処置してください。

  ※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは…

P6「ガス漏れ時の処置」

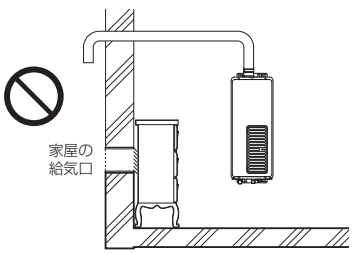
⚠警告

エアフィルターをふさがない

- 機器前面のエアフィルターは物などでふさがないでください。
  不完全燃焼の原因となります。

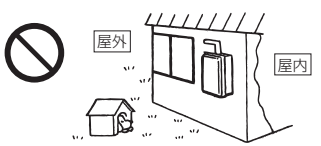
使用中は窓（給気口）を開ける

- 使用中は常に家屋の給気口を確保し、物などでふさがないでください。
  不完全燃焼の原因となります。



屋外に設置しない

- この機器は屋内設置形です。屋外に設置しないでください。また、排気筒トップは屋外に面した壁面の外に出るようにしてください。
  機器に雨水が浸入したり、風で炎があふれて火災の原因となります。

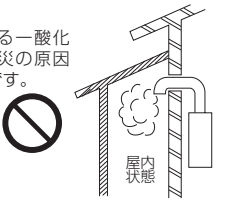


工事は資格必要

- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

囲い禁止

- 増改築などによって排気筒トップを屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしないでください。
  不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、火災の原因となり大変危険です。



引火のおそれのあるものの使用禁止
スプレー缶厳禁

- 機器および排気筒、排気筒トップの周囲には、引火しやすいもの（ガソリン、ベンジン、灯油など）やスプレーなどを置いたり、使用したりしないでください。
  引火して、火災のおそれがあります。
- 機器および排気筒、排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどが爆発するおそれがあります。

排気筒トップがシートで覆われているときは使用しない

- 外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など、シートで排気筒トップを覆うことがあります。このような場合は使用しないでください。異常点火や不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

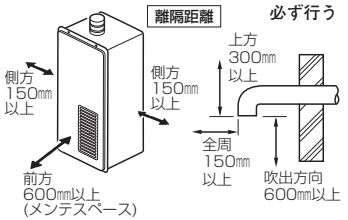
必ずお守りください

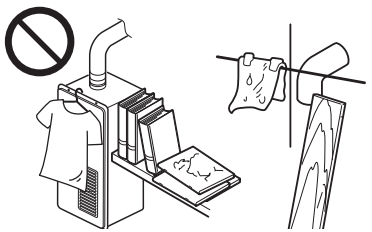
⚠警告

可燃物に注意

- 排気筒トップの周囲には燃えやすいもの（木材、紙、洗濯物）を置かないでください。
  火災など、思わぬ事故の原因となります。
- 機器および排気筒トップは、周辺のものとは常に下図の離隔距離を確保してください。

必ず行う





ガスの接続について

- この機器のガス接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ依頼してください。

アース必要

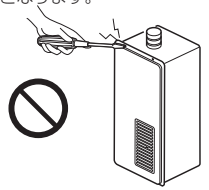
- この機器はアースが必要です。アースされていることを確認してください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
  アースの取り付けは販売店にご相談ください。

アース必要

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わないでください。
  改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や火災、故障の原因となります。

分解禁止



入浴するときはやけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
  浴槽内のお湯の上下に温度差が生じることがありますので、お湯を十分にかきまぜてから確認してください。
- おいだきをしているときや、おふろを沸きあげているときは循環口（または循環アダプター）があつくなったり循環口（または循環アダプター）からあついお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

必ず行う

高温注意

入浴時のご注意

- 浴槽にもぐらないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

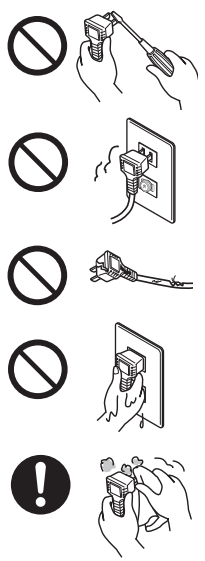
浴槽のふたに関する注意

- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。
  ふたが外れておぼれたり、やけどをするなど思わぬ事故の原因となります。

⚠警告

電気事故防止のために

- 電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火のおそれがあります。
- 電源プラグは確実にさし込んでください。さし込みがゆるいと、感電や火災の原因になります。
- 傷んだ電源プラグ・電源コードは使用しないでください。
- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
- 電源プラグのコンセント差込部の刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



ぬれ手禁止

無理な力を加えない

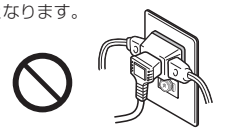
- 機器本体や排気筒・排気筒トップ・ガス管などの付帯設備の上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。
  ガス漏れや不完全燃焼の原因となります。また、破損や故障の原因となります。

電源コードを持って引き抜かない

- 電源コードを引っぱってプラグを抜かないでください。コードが断線して発熱・発火の原因となります。

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



子供に対する注意

- 浴槽で遊ばせないでください。
  おふろを沸かしているときなど浴槽に水のある場合は特に、浴槽に落ちておぼれるなど思わぬ事故の原因となることがあります。
- 子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。
- 浴槽にもぐったりしないように注意してください。
  思わぬ事故の原因となります。

使用中の外出・就寝禁止

- おふろ沸かしをしたまま、就寝・外出はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。

必ずお守りください

⚠注意

排気筒トップに指や棒を入れない

●排気筒トップに指や棒を入れないでください。
けがや故障の原因となります。

排気筒・排気筒トップでのやけどに注意

●使用中、使用直後は排気筒や排気筒トップとその周辺は高温になりますので、さわらないでください。

つららに注意

●冬期は特に、排気筒トップの下に立ち入らないでください。
積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下し、けがの原因となります。

用途について

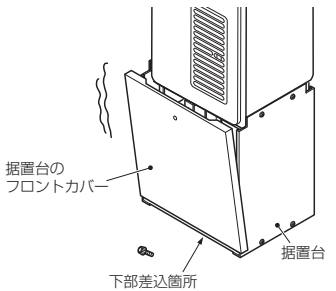
●おふろ沸かし以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因となります。

機器を廃棄する場合

●機器を取り替えた場合、これまでご使用になっていた機器は専門の業者に処理を依頼してください。
お客さまが処理する場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正しく処理してください。

据置台について

●据置台を使用している場合、そのフロントカバーが確実に固定されていることを確認してください。また、定期的に点検してください。
化粧ビスがゆるんだり外れていたり、下部差込箇所が外れているとフロントカバーが外れて思わぬ事故の原因となります。
据置台のフロントカバーの固定については…
📖P30「据置台のフロントカバーについて」



入浴剤や洗剤などについて

●硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください。
熱交換器の腐食や故障の原因となります。
異常に気づいたときはすぐに使用をやめてください。
●泡の出る入浴剤は使用しないでください。
使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
●塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。
思わぬ事故や故障の原因となります。
●入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。

お願い

リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

●テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
音声や画像が乱れることがあります。

水による着色について

●給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯のなかに溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、よくすすぐと発色しにくくなります。

点火・消火の確認

●使用時の点火、使用後の消火をリモコンの表示で確認してください。

停電時のご注意

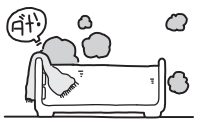
●停電すると使用できません。使用中に停電すると停止します。
●冬期など凍結のおそれがある場合は、水抜きをしてください。
停電すると凍結予防ヒーターが働かなくなり、通常の寒さでも機器内の水が凍結して、破損事故・水漏れ故障の原因となることがあります。
📖P24「冬期の凍結による破損予防について」

適合する別売品以外は使わない

●この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。
事故や故障の原因となります。

循環口をタオルでふさがない

●浴槽の循環口（または循環アダプター）をタオルなどでふさがないでください。
循環不良でおふろ沸かしができません。
●浴槽内でタオルを使ったり、衣類やペットなどを洗わないでください。
毛や糸くずが吸い込まれて機器故障の原因となります。



電源を切らない

●長期間ご使用にならない場合や水抜きによる凍結予防を行う場合以外は、電源プラグをコンセントから抜いたり、分電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。
冬期は特に、電力の供給が断たれると凍結予防ヒーターが作動しなくなり、凍結などの故障の原因となることがあります。

冬期または長期間使用しないとき

●冬期は凍結予防をしてください。
📖P24「冬期の凍結による破損予防について」
●長期間使用しないときは水抜きをしてください。
📖P25「長期間使用しないとき」

積雪による排気筒トップの閉塞について

●積雪や屋根から落ちた雪などで排気筒トップがふさがらないようにご注意ください。
雪でふさがれると、故障の原因となります。こんなときは…
📖P35「アフターサービスについて」

必ずお守りください

お願い

スプレーの使用注意

●おふろ沸かしをしているときに機器の近くでシリコーン系スプレーを使わないでください。
故障の原因となります。

お手入れの際の注意

●お手入れは機器が冷めてから行ってください。
●作業時はけが予防のため、手袋などをして行ってください。
●機器やリモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。
表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
●浴槽はこまめに掃除して清潔にお使いください。

日本国内向けです

●海外での設置および使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。

雷時の注意

●雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
●感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

ぬれ手禁止

一般家庭用製品です

●業務用途のような使用頻度の高い使いかたをすると機器の寿命を短くします。
この場合の修理は保証期間内でも有料です。

エアフィルターについて

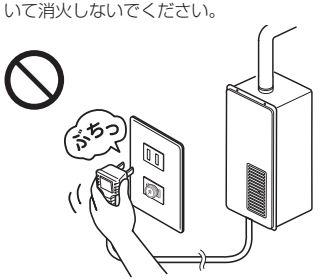
●機器前面のエアフィルターは月に 1 回程度必ず掃除してください。
エアフィルターがほこりなどで目詰まりしたまま使用すると、機器の故障の原因となります。
📖P29「エアフィルターのお手入れ」
●必ずエアフィルターを取り付けて機器を使用してください。（エアフィルターを取り付けないと使用できません。）

リモコンの取り扱いに注意

●リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。
故障の原因となります。
●お子さまがいたずらしないよう、注意してください。
●炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。
故障の原因となります。
●リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。
故障の原因となります。

運転停止時の注意

●機器を使用中、ガス栓を操作して消火しないでください。
●機器を使用中、電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。



お願い

機器の設置状態についての確認

●下記の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡し、設置場所を変更してください。
①機器は水平に（正しい角度で）設置されていますか？
②排気筒トップは冷・暖房や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？そうでないと正常な燃焼の妨げになることがあります。
③棚の下など落下物の危険のあるところを避けて設置してありますか？
④メンテナンスできる場所に設置されていますか？そうでないとメンテナンスをお断りすることがあります。
⑤排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪で排気筒トップが閉塞されることがありませんか？不完全燃焼の原因になります。
●この機器は海抜 1,000m まで使用できます。1,000m 以上で使用すると、点火不良などの不具合が発生することがあります。

燃焼排ガスについて

●植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されて困るものや悪影響を受けるものは、排気筒トップの周囲に置かないでください。
●増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
変色・破損・腐食の原因となります。

増改築時の注意

●機器や排気筒トップの周囲に塀などを設ける場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご相談ください。
塀などの形状・大きさ・機器や排気筒トップからの距離によっては、機器の正常な燃焼を妨げることがあります。また、機器の前方には点検・修理のための空間が必要です。

温泉水や地下水や井戸水で使用しない

●水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど、耐久性を損なう場合がありますので使用しないでください。また、浴槽のお湯の水質を変える機器を使用しないでください。

この機器は特監法対象機器です

●この機器は「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」で定める「特定ガス消費機器」です。「ガス消費機器設置工事監督者」もしくはその監督のもとでなければ取り付けできません。
この機器には、工事完了後、工事責任者が法定ステッカーを貼付することになっています。貼付されていないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年　月　日

用語

ふろ温度
沸きあげ保温運転でおふろを沸かすときの設定温度。

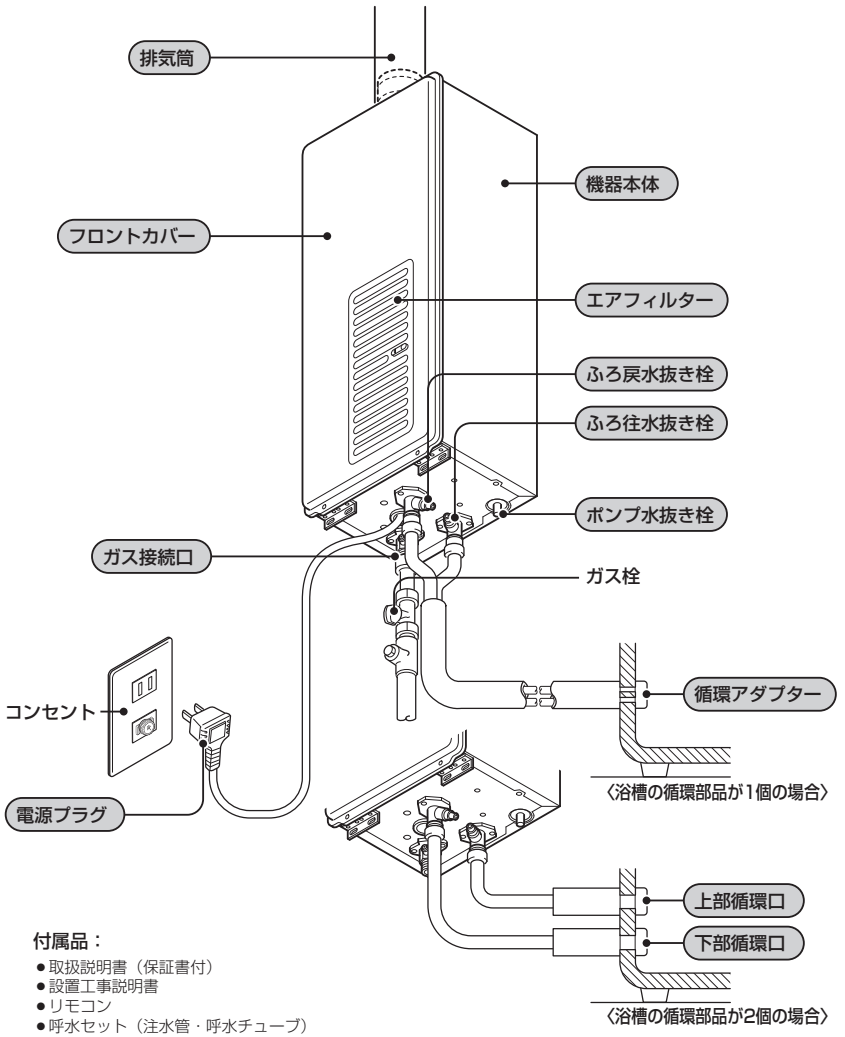
循環口／循環アダプター
浴槽の側面に取り付けられています。

おいだき
浴槽に張ってあるお湯を循環口（循環アダプター）から機器本体に取り入れ、機器本体の中で加熱し、再度浴槽に戻すことで浴槽のお湯をあつくしていくこと。

機器本体

各部のなまえとはたらき

機器本体の各部の名前を確認してください。



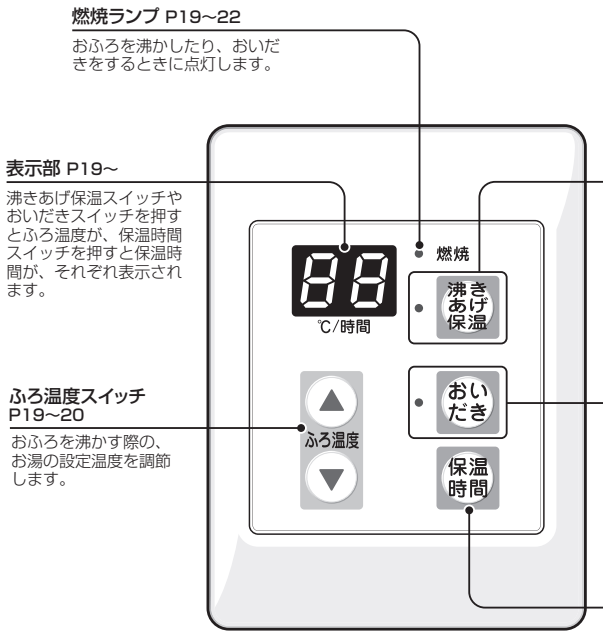
付属品：

- 取扱説明書（保証書付）
- 設置工事説明書
- リモコン
- 呼水セット（注水管・呼水チューブ）

リモコン

各部のなまえとはたらき

リモコンの各部の名称を確認してください。
表示部は実際の運転状態を示すものではありません。



ヒント

リモコン操作時のご注意

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音でお知らせします。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音やおふろの沸き上げ完了のお知らせ音は、ふろ温度スイッチ２個を同時に３秒以上押す（「ピッピッ」と受け付け音が鳴ります）ことによって消すこともできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をして（「ピッピッピッ」と受け付け音が鳴ります）ください。

初めて使うとき

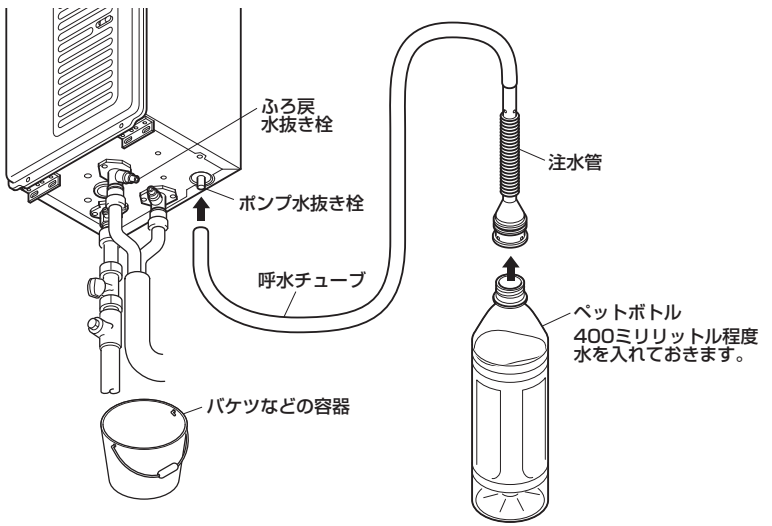
初めて使うときは、次の準備が必要です。
付属の呼水セット（注水管・呼水チューブ）と、500 ミリリットルサイズのペットボトル（汚れがついていないものを使用してください）およびバケツなどの容器を用意してください。

① 空のペットボトルに水を 400 ミリリットル程度入れる。

② 機器本体下部のふろ戻水抜き栓とポンプ水抜き栓を、1 回転ほどゆるめる。

③ 呼水セットおよびペットボトルを、図のように接続し、ふろ戻り水抜き栓の下方にバケツなどの容器を置く。

※呼び水セットやペットボトルの接続部が容易に外れないか確認してください。



⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない

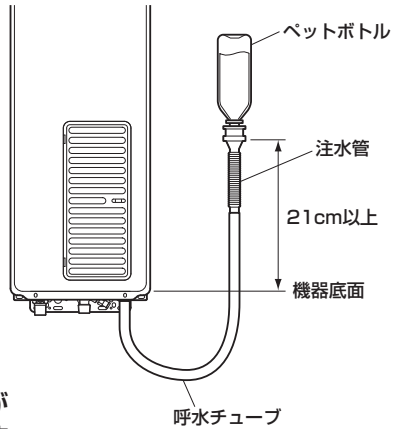
- 電源プラグをコンセントに差し込む際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

④ ペットボトルを逆さまにして、上に持ち上げる。

ペットボトルの中の水が機器内に注入されます。

※注ぎ口の位置が機器底面より 21cm 以上高くなるようにペットボトルを保持してください。

※ペットボトル内の水の減り方が遅い場合は、ふろ戻水抜き栓とポンプ水抜き栓の開き具合を確認してください。またペットボトルの底に錐などで穴をあけて空気を入れてください。



⑤ ペットボトルの水がなくなるか、ふろ戻水抜き栓から水が出てくれば、呼び水は完了です。

呼び水完了までに数分かかることがあります。

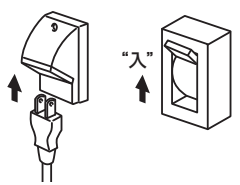
※ふろ戻水抜き栓から出た水は、バケツなどの容器で受けてください。

⑥ ふろ戻水抜き栓を閉じ、呼水チューブをポンプ水抜き栓から取り外した後、ポンプ水抜き栓も元通り閉じる。

※水が漏れていないことを確認してください。

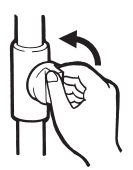
⑦ 電源プラグをコンセントに差し込む。（分電盤の専用ブレーカーを「入」にしてください）

機器付近の壁・分電盤。



⑧ ガス栓を全開にする。

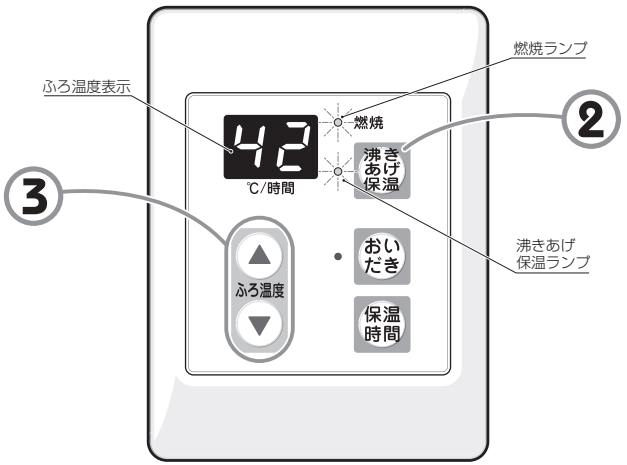
機器の下方。



- 付属の呼水セット（注水管・呼水チューブ）は、保管しておいてください。

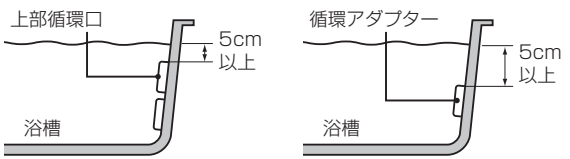
おふろを沸かす

お好みの温度まで、おふろを沸きあげ、一定時間保温します。



① 浴槽にお湯（水）が十分入っていることを確認する。

上部循環口、または循環アダプターの上端より5cm以上上まで水位があることを確認してください。



② 沸きあげ保温 スイッチを押す。

ふろ温度表示および沸きあげ保温ランプが点灯し、燃焼ランプが点灯して、おふろを沸かし始めます。

⚠ 警告

やけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
- おいだきのときは循環口や循環アダプターからあついお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

高温注意

③ ふろ温度 スイッチを押す。

ふろ設定温度を変更するときは…

ふろ温度 ▲ を押すと設定温度が上がります。ふろ温度 ▼ を押すと設定温度が下がります。
お買い上げの際には、42℃に設定してあります。
必ずふろ温度表示で温度を確認してください。

沸きあげ保温運転を途中でやめるときには…

沸きあげ保温スイッチを押してください。沸きあげ保温ランプとふろ温度表示が消灯します。

おふろが沸き上がると…

お知らせ音が「ピピピピッ」と5回鳴ります。
ふろ設定温度で一定時間保温します。保温が終了すると沸きあげ保温ランプとふろ温度表示が消灯します。
P23「保温時間を変更する」

仕組み

ふろ温度のめやす

- ふろ温度▲を押しつづけると45℃までは連続で変わります。46℃以上にするときは一回づつ押してください。
- 表示している温度と実際の温度は必ずしも一致しません。目安としてください。

37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 ℃
ぬるめ　ふつう　あつめ

- 一度設定したふろ設定温度は、変更するまで記憶しています。
- ふろ設定温度は、沸きあげ中でなくても設定・変更ができます。ふろ温度スイッチを押して操作してください。ふろ温度スイッチを操作してから約5秒後に、ふろ設定温度表示は確定して消灯します。

沸きあげ保温について

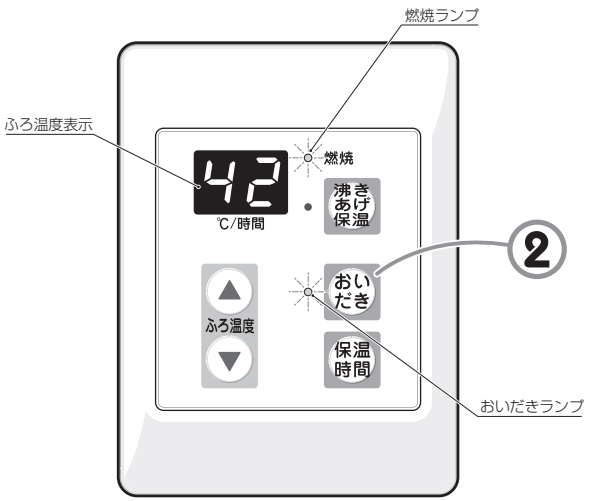
- 保温中にふろ設定温度を上げた場合には、約1分後においだきが始まります。
- 沸きあげ保温ランプが点灯している間は、25～40分ごと（機器周囲の温度などの条件により異なります）にお湯の温度をチェックして、温度が下がっていれば自動的においだきします。
- 保温中に浴槽の水位が下部循環口（または循環アダプター）を下回ると、保温ができなくなります。
- 浴槽の残り湯を排出する際には、沸きあげ保温ランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- ふろ設定温度を変えないで、おふろをあつくしたいときは…
  P21-22「おふろをあつくする」

上部循環口（または循環アダプター）の上まで お湯が入っていないときに沸きあげ保温スイッチを押すと…

- 表示部に 63 が点滅することがあります。このままではおふろ沸かしができません。沸きあげ保温スイッチを押して「切」にし、浴槽にお湯（水）を足してから、再度沸きあげ保温スイッチを押してください。

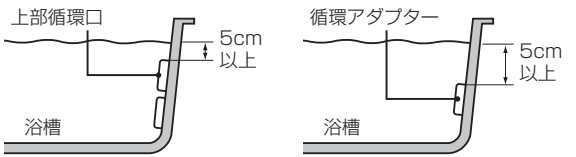
おふろをあつくする

浴槽のお湯がぬるいときには、おいだきをしてください。



① 浴槽にお湯（水）が十分入っていることを確認する。

上部循環口、または循環アダプターの上端より 5cm 以上上まで水位があることを確認してください。



② おいだき スイッチを押す。

ふろ温度表示およびおいだきランプが点灯し、燃焼ランプが点灯しておいだきを始めます。
浴槽のお湯の温度が低いとき（ふろ設定温度マイナス 1 ℃以下）には、ふろ設定温度までおいだきします。
浴槽のお湯の温度がふろ設定温度に近いとき（ふろ設定温度マイナス 1 ℃より高いとき）には約 3 分間おいだきします。
おいだき運転は自動的に停止し、おいだきランプとふろ温度表示が消灯します。

おいだき運転を途中でやめるときには…

おいだきスイッチを押してください。
おいだきランプとふろ温度表示が消灯します。

仕組み

おいだき運転について

- おいだきスイッチを押した後、ふろ設定温度を変えたときは、ふろ設定温度までのおいだきとなります。
- 保温中でもおいだき運転ができます。おいだき運転終了後 25 ～ 40 分（機器周囲の温度などの条件により異なります）たつと、再びふろ設定温度での保温に戻ります。
- 浴槽のお湯の温度が高くても、おいだきスイッチを押すと約 3 分、おいだきし、その後停止します。おいだき運転を何度もくり返すと、浴槽のお湯の温度が上がりすぎてしまう（最高 50 ℃）ことがあります。

※浴槽のお湯の温度が 50 ℃になると、おいだきスイッチを押しても、おいだきしません。

上部循環口（または循環アダプター）の上まで お湯が入っていないときにおいだきスイッチを押すと…

- 表示部に E3 が点滅することがあります。このままではおいだきできません。沸きあげ保温スイッチを押して「切」にし、浴槽にお湯（水）を足してから、再度おいだきスイッチを押してください。

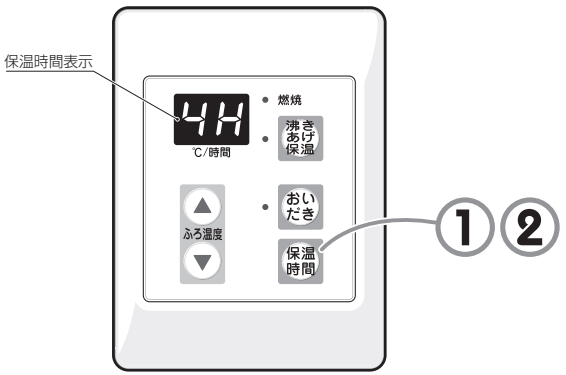
⚠ 警告

やけどに注意

- おいだきのときは循環口や循環アダプターからあついお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。
- おいだき運転を何度もくり返すと、浴槽のお湯の温度が高くなり過ぎることがあります。入浴の際はお湯をかき混ぜ、必ず手でお湯の温度を確認してください。

保温時間を変更する　おふろを沸かすとき

沸きあげ保温スイッチでおふろを沸かした際の、保温時間を変更することができます。
保温時間は、いつでも変更することができます。
お買い上げの際は４時間に設定してあります。



① 保温時間 スイッチを押す。

表示部に保温時間表示が点灯します。

② 保温時間 スイッチを押して、保温時間を変更する。

保温時間スイッチを押すごとに、右記のように保温時間が変更できます。

操作後約５秒経過すると、保温時間が確定して保温時間表示が消灯します。（沸きあげ保温中、またはおいだき中のときには、ふろ温度表示に戻ります。）

ヒント

保温時間を確認したいとき…

- 一度、保温スイッチを押すと、表示部に現在の保温時間が表示されます。保温時間を変更したくない場合は、約５秒間そのままにして保温時間表示を消灯させてください。

保温時間について

- 一度設定した保温時間は、変更するまで記憶しています。
- 保温中に保温時間を変更した場合は、変更した時点から新しく設定した保温時間だけ保温します。

冬期の凍結による破損予防について　凍結予防

暖かい地域でお使いのお客さまも、必ずお読みください。

⚠ 注意

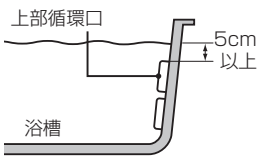
- 冬期は、暖かい地方でも機器や配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（－15℃以下）なったり、そうでなくても風のあるときには、「対策－１」では凍結予防ができなくなります。そのような場合には、「対策－２」を行ってください。
- 冬期に長期間機器を使用しないときは、必ず「対策－２」を行ってください。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

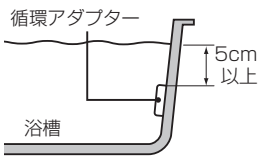
対策－１）凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による凍結予防

電源プラグがコンセントに差し込まれている（分電盤の専用ブレーカーが「入」になっている）ことを確認してください。

この機器には、外気温が下がると自動的にポンプを保温するヒーターと、自動ポンプ運転装置が組み込まれています。電源プラグがコンセントから抜けていると凍結予防ヒーターが作動せず、自動ポンプ運転も行われませんのでご注意ください。

※機器が外気温を感知し、自動的に作動します。このため寒冷時に、水位が上部循環口（または循環アダプター）の上端より５cm以上、上になるように、浴槽に湯（水）を張っておいてください。





対策－２）水抜きによる凍結予防

25ページの「長期間使用しないとき」の①～⑧を行ってください。

※水抜きをした場合、次に機器を使用するときは、25ページの「■水抜きした機器を、次に使うときは…」を参照してください。

長期間使用しないとき　凍結予防

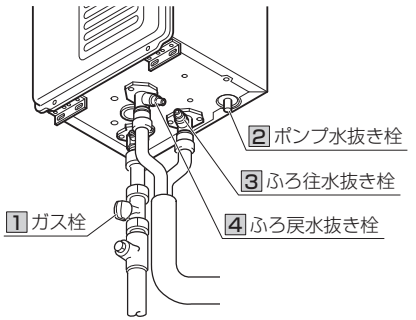
長期間ご使用にならない場合は、「水抜き」を行っておいてください。

※機器の使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※据置台を使用している場合は、そのフロントカバーをあらかじめ取り外してください。

取り外しかたについては…

P30「据置台のフロントカバーについて」



①ガス栓1を閉じてください。

②浴槽の排水栓を抜いて、排水してください。

③おいだきスイッチを押して（「入」にする）、浴槽の循環アダプター（または上部循環口）から水（お湯）が出てくることを確認します。

※浴槽が機器本体より高い位置にある（1階に機器本体・2階に浴槽を設置、など）場合は、ふろ往水抜き栓3を開けてから、おいだきスイッチを押して（「入」にする）、ふろ往水抜き栓3から水（お湯）が出てくることを確認してください。

④排水が止まったら再度おいだきスイッチを押してください。

※すぐに排水が止まった場合でも、最初においだきスイッチを押してから約1分はそのままにしておいてください。

※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが異常ではありません。

⑤電源プラグをコンセントから抜いてください。（分電盤の専用ブレーカーを「切」にしてください。）

⑥機器下部に、ポンプ水抜き栓2・ふろ往水抜き栓3・ふろ戻水抜き栓4からの排水を受けるための容器を用意してください。（約1リットル排水されます）

⑦ポンプ水抜き栓2・ふろ往水抜き栓3・ふろ戻水抜き栓4を開けて、排水を容器で受けます。

⑧排水が終わったら、ポンプ水抜き栓2・ふろ往水抜き栓3・ふろ戻水抜き栓4を閉じてください。

※以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

※据置台を使用している場合、全ての水抜き作業が終了したら、据置台のフロントカバーを元どおり確実に固定してください。取り付けかたについては…

P30「据置台のフロントカバーについて」

■ 水抜きした機器を、次に使うときには…

①ポンプ水抜き栓2・ふろ往水抜き栓3・ふろ戻水抜き栓4が閉じてあることを確認してください。

②17～18ページの「初めて使うとき」に従ってください。

日常の点検とお手入れ　点検・お手入れ

日常の点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず①ガス栓を閉め②電源プラグを抜き③機器が冷めてから行ってください。
- 作業時はけが予防のため、手袋などをして行ってください。
- フロントカバーなどは決して外さないでください。

日常の点検

点検のポイント－機器周辺の状態

- 機器のまわりおよび排気筒や排気筒トップのそばに燃えやすい物はありませんか？
- 排気筒トップをなにかがふさいでいませんか？詳しくは・・・
  P8「引火のおそれのあるものの使用禁止　スプレー缶厳禁」P9「可燃物に注意」
- 据置台を使用している場合、そのフロントカバーが確実に固定されていますか？
  P30「据置台のフロントカバーについて」

点検のポイント－機器の状態

- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 運転中に機器から異常燃焼（点火時や使用時にゴーと音がするような燃焼）や異常音は聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 万一異常を感じたときは・・・
  P6「ガス漏れ時の処置」
  P7「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。

お願い	**定期点検のすすめ（有料）**
	●安心してお使いいただくために、定期的に（年に一回程度）点検を受けていただくことをおすすめします。このとき、見えないところにある排気筒の外れ、詰まりなどの点検も依頼してください。 P35「アフターサービスについて」 ●万一使用中に異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなどの異常に気づいたときは… P7「異常時の処置　地震・火災などの緊急のときには」

日常のお手入れ

機器とリモコンのお手入れ

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
  リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
  P13「お手入れの際の注意」

日常の点検とお手入れ

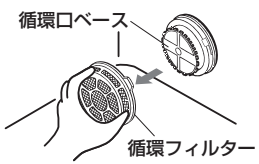
循環フィルターのお手入れ

●循環フィルターはこまめに掃除してください。

■ 浴槽に取り付けられている循環部品が「循環口」（部品が上下２個）の場合

1 下部の循環フィルターを左に回す。

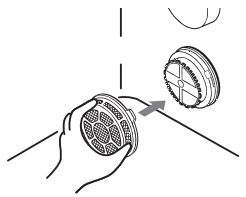
2 循環フィルターを循環口ベースから取り外す。



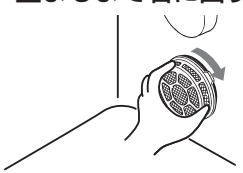
3 循環フィルター正面と側面の表裏をブラシなどで掃除する。

（金属などの固いブラシは使わないでください）

4 循環口ベースの凹部に、循環フィルターの凸部合わせて差し込む。



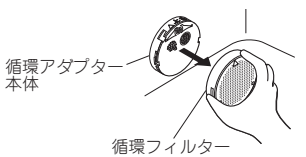
5 差し込んで“カチッ”と止まるまで右に回す。



■ 浴槽に取り付けられている循環部品が「循環アダプター」（部品が１個のみ）の場合

1 循環フィルターを左に回す。

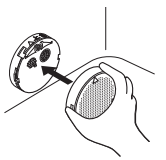
2 手前に引いて循環アダプター本体から取り外す。



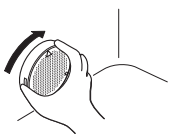
3 循環フィルター正面と側面の表裏をブラシなどで掃除する。

（金属などの固いブラシは使わないでください）

4 ▼マークを合わせてはめる。



5 差し込んで“カチッ”と止まるまで右に回す。



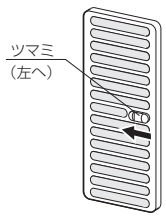
お願い	循環フィルターのお手入れの後は… ●循環フィルターは元通り確実に取り付けてください。フィルターが外れていたり、取り付け方が不十分な状態で使用すると機器故障の原因となります。 ●循環フィルター以外は外さないでください。 ●これらを守らずに機器が故障したときの修理は、保証期間内でも有料です。

日常の点検とお手入れ

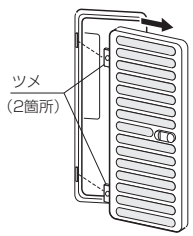
エアフィルターのお手入れ

●機器前面のエアフィルターは月に 1 回程度必ず掃除してください。
エアフィルター表面のほこりやゴミを掃除機で吸い取ってください。変形・破損の原因となりますので、たたいてほこりを落とすことはおやめください。汚れがひどい場合は、エアフィルターを取りはずして水洗いをしてください。掃除をしないと機器の寿命が短くなります。

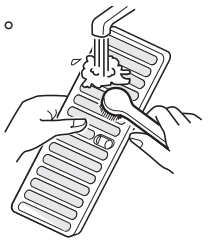
1 エアフィルター中央にあるつまみを左にスライドさせる。



2 エアフィルターの右端を少し手前に持ち上げながら右に引く。

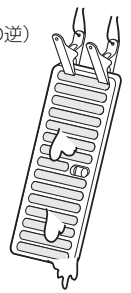


3 水洗いはやわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないようにする。



4 水洗い後はよく乾燥させてからもと通りに取り付ける。

（手順 1 2 の逆）



お願い	●エアフィルターはベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯をかけたりしないでください。 ●故障の原因となりますのでぬれたエアフィルターを取り付けて使用しないでください。	禁止

据置台のフロントカバーについて

■ フロントカバーの外しかた

（1）化粧ビス 1 本をゆるめ、フロントカバーより取り外す。

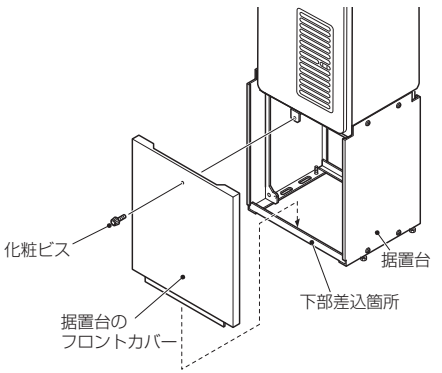
（2）フロントカバーを上方に持ち上げて、取り外す。

■ フロントカバーの取り付けかた

（1）フロントカバーの下部差込箇所を配管カバーの下部差込箇所に差し込む。

（2）化粧ビス 1 本を取り付け、しっかりと締めて固定する。

※下部差込箇所が外れていないことを確認し、化粧ビスをしっかりと締めて、確実にフロントカバーを固定してください。



※上図は一例です。実際の据置台は、形状が上図とは異なることがあります。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

お湯の温度について

■ おふろ沸かしをしても浴槽のお湯が設定した温度にならない

- おふろ沸かし中にふろ設定温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。
- ふろ設定温度は適切ですか？ （📖P20）

おふろ沸かしについて

■ おふろ沸かしを始めると、にごったお湯が出る

- おいだき配管内に残り湯があった場合には、次のおふろ沸かしを始めた直後、配管内の残り湯が少し混入します。特に入浴剤をご使用の場合、にごりが目立つことがあります。

■ おいだきができない　おいだき中に消火した

- 浴槽の上部循環口（または循環アダプター）の上端より 5cm 以上お湯または、水が入っていますか？ （📖P19、22）
- 浴槽の下部循環口（または循環アダプター）のフィルターにゴミや髪の毛が詰まっていませんか？ （📖P27-28）

■ 浴槽の循環口（または循環アダプター）から「ボコ・ボコ」と空気の出る音がすることがある

- おいだき配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。

■ 運転終了後もしばらくポンプが回る

- 運転終了後、浴槽のお湯のかくはんのためポンプがしばらく回ります。

■ 保温中ときどきポンプが回る

- 浴槽のお湯の温度を検知するためときどき回ります。

リモコンについて

■ スイッチを押しても表示部に何も表示されない、ランプも点灯しない

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか（分電盤の専用ブレーカーが「入」になっていますか）？ （📖P18）
- 停電していませんか？
- 一度、分電盤の専用ブレーカーを「切」にしてから再度「入」にするか、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから、再度操作してください。

■ 故障表示が点滅する

- 「故障表示」の項を参照し、それぞれの故障表示に応じた処置を行ってください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。 （📖P33）
- 「故障表示」のうち 05 が点滅したときにはエアフィルターの掃除をしてください。
  エアフィルターは元の位置にしっかりと固定してください。エアフィルターが固定されていない場合にも、 05 が点滅します。
- 浴槽の水位が低い（上部循環口または循環アダプターの上端より 5cm 高い位置までお湯（水）が入っていない）状態で沸きあげ保温やおいだきをすると 63 が点滅します。沸きあげ保温スイッチを押して故障表示を解除し、浴槽にお湯（水）を足してから再度おふろ沸かしをしてください。 （📖P20、22）
- 沸きあげ保温やおいだきが 90 分以上継続すると、 02 が点滅して停止します。異常ではありません。沸きあげ保温スイッチを押して故障表示を解除すると使用できるようになります。

その他

■ 使用中に失火した

- ガス栓が全開になっていますか？
- ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？
- エアフィルターがほこりや油などで目詰まりしていませんか？
- レンジフードや換気扇を回した状態で使用したり、ストーブなどの長時間使用で不完全燃焼すると自動的に消火します。レンジフードや換気扇を「切」にし、家屋の給気口を確保して使用してください。
- LP ガスの場合、ガスがなくなっていませんか？

■ 排気筒トップから白い湯気が出る

- 冬に吐く息が白く見えるように、燃焼排ガス中の水蒸気が小さな水滴に変わり、白い湯気に見えますが、故障ではありません。

■ おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯が出る

- 機器内の水が膨張して出てくることがありますが、異常ではありません。

■ おいだき停止後しばらくの間ファンの回転音がする

- 再使用時の点火をより早くするため、おいだき停止後もしばらくファンが回転しています。

■ 使用中に機器から振動するような大きな音がする

- 部屋の窓（給気口・小窓など）を開けないで他の燃焼機器（ストーブやファンヒーターなど）を使用していませんか？
  他の燃焼機器（ストーブやファンヒーターなど）を使用して室内の酸素濃度が低下すると、機器が正常に燃焼しなくなり、振動するような音（「ボーボー、ブルブル」など）が発生することがあります。
  このようなときは、部屋の窓（換気口や小窓など）を開けてください。

■ 水が青く見える
浴槽や洗面台が青く変色した

- 水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴槽が青く変色することがありますが健康上問題ありません。浴槽はこまめに掃除することにより、変色しにくくなります。

■ ポンプの回転音がする

- おいだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。
- 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴槽の水を循環させます。

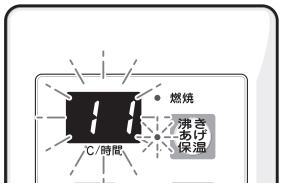
■ 初めて使用するときに、においがする

- 初めてお使いになるときは、機器からにおいがすることがありますが異常ではありません。数回のご使用でにおいはなくなります。

※安全性を高めるため CO センサー（一酸化炭素濃度検出装置）が内蔵されています。このセンサーの耐用累積時間が近付くと、表示画面に故障表示 38 が点滅します。お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

故障表示

機器や使用方法に不具合のあったときは、自動的に運転を停止し、リモコンの表示部に故障表示が点滅します



故障表示	内　　容	故障表示	内　　容
02	90 分連続沸き上げタイマー作動	30	低温感知サーミスタ異常
05	エアフィルター詰まり検知・はずれ検知	31	ふろサーミスタ異常
11	点火不良	38	CO センサー異常・CO センサー寿命
12	途中消火（立消え）	52	ガス比例弁異常
13	CO センサー作動	61	燃焼ファンモーター異常
14	温度ヒューズ、過熱防止装置作動	63	浴槽の水無し検知・ふろ水流スイッチの故障
16	浴槽温度異常過熱	71	電装基板異常
19	2 次回路の地絡検出	72	疑似炎検出
25	ふろ水流スイッチ ON 故障	88	点検時期告知

■ 05・63以外の故障表示が点滅したときは、次の操作をしてください。

①ガス栓が十分開けてあるか確認する。

②沸きあげ保温スイッチを押し、故障表示を解除する。

③再び使用してみる。

■ 05・63の故障表示が点滅したときは沸きあげ保温スイッチを押して故障表示を解除してから、それぞれ次の操作をしてください。

05が点滅しているときは、エアフィルターを掃除し、取り付けてから再度使用してください。
63が点滅しているときは、浴槽の上部循環口（または循環アダプター）の上までお湯（水）を入れてから、再度おふろ沸かしをしてください。

■ 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

本機器は安全性を高めるため CO センサー（一酸化炭素濃度検出装置）が内蔵されており、このセンサーの耐用累積時間が近付くと38が点滅し始めます。CO センサーが排気中に一酸化炭素を検知し、13が点滅すると機器は停止します（沸き上げ保温スイッチを押すと故障表示は解除され再び使用できますが、再使用できるのは 5 回目の点滅までです）。16が点滅している場合は、浴槽のお湯が 50 ℃以上になっていることがあります。これらの故障表示に気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

仕様

仕様表

分類名称		ガスふろがま
品名		531-R909 型
型式名		RF-111SWF
設置方式		屋内壁掛（据置）設置形
外形寸法図		幅 250 ×奥行 200 ×高さ 610（mm）
製品質量		14kg
温度調節		温度設定可変型（約 37 ℃～約 48 ℃）
点火方式		AC100V 連続放電式（ダイレクト点火）
接続口径	ふろ	15A（G1/2B）
	ガス	15A（R1/2）
電気関係	電源	AC100V（50Hz/60Hz）
	消費電力	128W/149W（50Hz/60Hz） 待機時 2.1W（1.5W：CO センサー分を除く）、凍結予防ヒーター作動時 10.0W（50Hz－60Hz）
電源コード長さ		2m
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置・ファン回転検出装置・凍結予防装置・過電流防止装置・漏電安全装置・空だき防止装置・一酸化炭素濃度検出装置

能力表

使用ガス（使用ガスグループ）	1 時間当たりのガス消費量 kW（kcal/h）	沸き上がり時間（min）※
13A	13.4（11,520）	30
12A	12.5（10,730）	32
LPG	13.4（11,520）	30

- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。
- ガスはＪＩＳに規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。

※浴槽の 180L の水を、水温 15 ℃から水温 40 ℃にする時間。

アフターサービスについて

サービス

アフターサービスはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへお申し付けください。

■ サービスを依頼されるとき

- まず31～32ページの「修理を依頼される前に」、33ページの「故障表示」、をご確認ください。確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓を閉じ、電源プラグを抜いて（分電盤の専用ブレーカーを「切」にして）から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
  📖P38「大阪ガスのお問い合わせ先」
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
  1 **お名前・ご住所・電話番号・道順（近所の目印など）**
  2 **品名　531-R909型**
  3 **現象**（できるだけ詳しく）
  4 **訪問希望日・時**

■ 機器を移転するとき

- ガスには都市ガスとLPガスの区分があります。
- ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。
- 転居、移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■ 保証について

- この取扱説明書には保証書が付いています。
- 保証書に記載のように、ガスふろがまの故障について修理いたします。
  詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。詳しくは保証書をごらんください。

■ 補修用性能部品の保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品保有期間は当商品製造中止後7年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■ アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 38ページ下の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。

MEMO

※保証登録カード・領収証等貼付欄

お買い上げ店名・お買い上げ日が記載されている保証登録カード、または領収証等とセットして保管してください。

ここに、保証登録カードまたは
領収証を貼ってください。

6. お客さまへ

（1）無料修理やアフターサービスなどについてご不明の場合は、お買い上げ店もしくはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。
（2）保証登録カードまたは領収証等にお買い上げ店名の記載のないものについては無効となりますので購入時に必ずご確認ください。
（3）本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
（4）ご転居の場合またはご贈答品等で保証登録カードまたは領収証等に記載してあるお買い上げ店に修理がご依頼できない場合には、もよりの大阪ガスへご連絡ください。お問い合わせ先については下記の大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。
（5）本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
（6）この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

大阪ガス株式会社
大阪市中央区平野町４－１－２

Tel フリーダイヤル **0120-0-94817**
（お客さまセンター）

大阪ガスのお問い合わせ先

〈お客さまセンター〉

大阪リビング営業部	〒550-0023	大阪市西区千代崎３丁目南2-37	電話　0120-0-94817
南部リビング営業部	〒590-0973	堺市堺区住吉橋町2-2-19	電話　0120-3-94817
北東部リビング営業部	〒569-8569	高槻市藤の里町39-6	電話　0120-5-94817
兵庫リビング営業部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町１丁目8-2	電話　0120-7-94817
京滋リビング営業部	〒600-8815	京都市下京区中堂寺粟田町93	電話　0120-8-94817

※受付時間は、平日９：00 ～ 19：00、日祝日９：00 ～ 17：00 となっております。
※お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。
※所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。